

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

つなぐ松森

評価実施日：令和6年1月31日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	3	5		・活動内容やワンルームでの不便さを感じることから、スペースや動線の確保を常に意識できるように職員間で話し合っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	2		・適切ではある。職員の欠勤状況によってはドライバーが不足するため応援体制を図っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1		・スロープを設置し段差を解消している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	1		・日々のミーティングにより話し合いを行っている。 ・形骸化しないように、より修正、改善を加えながら進めていく必要がある。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	8			・アンケートの他にも送迎時等に要望、意見をいただいた際は、その都度改善策について話し合っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5	1	・現在は実施していない。今後要検討。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	2		・随時勉強会を開催し、質の共有化を図っている。 ・今後部外研修会への参加を積極的に行っていく。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2		・アセスメントの見直し等を行うことで、未充足の部分を話し合い、計画を作成していくように改善を図っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		・利用児の特性を共有し、アセスメントツールを使用し潜在的な能力を知ることが出来るようにしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			・全職員で話し合い計画を立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			・活動の中に外出等も企画し、室内だけの活動にならないよう全職員で話し合い工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め、細やかに設定して支援しているか	6	2		・特に長期休暇では、午前午後と取り組みを分けたり、タイムスケジュールを用いて行っている。 ・より個々に応じた課題に対する支援の質を高める。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・その日の状況、体調等に合わせ、利用児一人ひとりの未充足部分を特に力を入れて関わっている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			・支援前のミーティングで活動の流れや医療的ケア等利用者に合わせてタイムスケジュールを確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			・毎日送迎後又は翌日にミーティングを行い、支援の改善点や動き等の気づき話し合い、職員全員が同じ方向を向いて支援できるように取り組んでいる。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			・ケース記録、看護記録を活用している。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			・年2回モニタリングを行い、職員全員で話し合っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	6		・ガイドラインについて研修を実施していく。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		・看護師や担当支援員など利用者の状況を理解している職員も参画している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	1		・ホームページや保護者からの情報共有となっている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	1		・保護者を通じた連絡体制となっている。 ・必要な都度指示書に記載していただくなど話し合いを行っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3		・同じ法人内での情報共有は図られている。 ・他事業所については今後取り組んでいく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	5		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センターの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4	3	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	6	・感染症等注意が必要だが、今後交流の機会を増やしていきたい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		2	5	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			・送迎時や連絡帳を通じ、また面談時にも支援中の様子や気づいた成長などの共通理解を図っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	5	1	・ほんのささいな行動でも良いと思えることは保護者様に伝え「出来る」「出来た」を必ず褒めながら支援している。
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2		・契約時に必ず実施。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			・保護者からの不安要素等を把握しながら、できる範囲で支援していくことを伝えている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士連携を支援しているか	1	7		・感染症等の関係でほぼ開催できていないが、今後積極的に行っていく。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		・管理者、相談窓口（総務課）を通じて対応し、全職員が事案について共有できるように話し合いを実施している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2		・毎月お便りを発行し発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	8			・持ち出し厳禁。施錠を徹底。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	1	7		・招待するところまでは行っていないが、散歩や行事で交流を図っている。 ・今後増やしていけるように取り組んでいく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	6		・未整備のものもあるため早急に策定していく。 ・周知に努めていく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	2		・随時実施しているが、定期的にできるように計画していく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2		・年1回及び支援前に随時実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			・適切な手続きのもと、やむを得ず必要な利用者様には保護者様の同意を得たうえで実施し記録を取っている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8			・医師の指示書を遵守し、不明な点は都度保護者様へ確認を行い指示をいただいて対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			